

神戈陵を渡る風2

令和4年度 川辺高校 校長通信 第064号(通算)

令和4年7月20日(水)発行

いよいよ、明日から夏休み。川辺高校生らしさを十分に発揮できるチャンス到来です。上級学校の見学会(オープンキャンパス)に参加するなど、普段出来ないことにチャレンジしたり、じっくりと自分自身を振り返ったりする時間も、取ろうと思えば実行できます。**知覚動考**(ともかくごう)→①知る ②覚える ③動く ④考える これを出来るのが夏休みです。

一学期終業式校長式辞 より

『私と小鳥と鈴と』

私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面(じべた)を速くは走れない。

私がからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。

鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。

この詩は、金子みすゞの代表作の一つです。「みんなちがって、みんないい」なんてうれしい言葉でしょう。「あなたはあなたでいい」とうたっていきます。人間を含めて地球上の全ては違うから生まれることができ 違うからそれぞれが存在することができたのです。「誰もが生まれただけで百点満点」ということです。

この みすゞさんのまなざしは 人間中心 自分中心では 成り得ません。

この作品で一番大切なのは 最後の段落の一行前です。題では『私と小鳥と鈴と』ですが一行前は「鈴と、小鳥と、それから私」と「私」の位置が変わっています。「私とあなた」ではなく「あなたと私」になった時 初めて自分優先ではなく「みんなちがって、みんないい」というまなざしが生まれるのです。

もう一つ大切なところは「お空は飛べない」「地面は走れない」「きれいな音は出ない」「たくさんな唄は知らない」と できないことと知らないことしかうたっていないところです。

私たちは生まれた時には ほとんど何もできず 何も知らなかったにもかかわらず 少して

きることが増え 少し知っていることが増えるのでできない人や知らない人を差別しがちになる。

みすゞさんはできないこと 知らないことが先にあって できることに会い 知ることに会えることを思い出させてくれ 誰もがそれぞれの時間と容積を持っていて 比べることのできない素晴らしい存在だと教えてくれます。

ALTアレクサンドラとの学び

America Independence Day 7月4日はアメリカの独立記念日(英語ではThe Fourth of July)です。その記念日を紹介し語学学習を深めようとアレクサンドラさんがお手製の資料を作り、職員室廊下に掲示してくださいました。アメリカは、この日が休日となります。



彼女の家族が集まり、屋外でバーベキューを楽しんだり、夜になり打ち上げられる花火を楽しんでいる様子を見ることが出来ます。皆さんが、楽しく英語や異文化を学べるように彼女の工夫がみられる素晴らしい資料です。



ALTアレクサンドラとの学び2

アレクサンドラが七夕飾りを作ってくれました。皆さんも、飾りや色とりどりの短冊に願いごとを書いたて笹の葉につるし、星にお祈りをしましたか？



(↑英語で願掛けの表現方法を紹介)

七夕は「たなばた」または「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭り行事で、一年間の重要な節句をあらわす五節句のひとつにも数えられています。鹿児島でも七夕を旧暦に合わせて、8月に飾り付けを行う所があります。(五節句とは何か調べてみよう。)

毎年7月7日の夜に、たくさんの短冊をつるしておりひめとひこぼしにお願いごとをした経験があると思います。では七夕祭りはいつから、どのようにして始まったのでしょうか？ その起源には多く説があるそうです。

- (1) もともと日本の神事であった「棚機(たなばた)」
- (2) おりひめとひこぼしの伝説
- (3) 奈良時代に中国から伝来した「乞巧奠(きこうでん)」

という行事があわさったものと言われていいます。ここでは、くわしい説明は省きますが、現在でも、7月7日の七夕の夜に、おりひめとひこぼしは待ちに待った「再会」という願いをかなえます。人々は「二人のように、願い事がかないますように」と、短冊に色々な願い事を書いて、笹や竹の葉に飾る行事が引き継がれているのです。冬でも緑を保ち、まっすぐ育つ生命力にあふれた笹や竹には、昔から不思議な力があるとされてきました。神聖な植物ゆえに、そこに神を宿すことができるとも言われています。

祭りの後、竹や笹を川や海に飾りごと流す風習には、竹や笹にけがれを持っていってもらうという古くからの日本の禊ぎ(みそぎ)という意味が込められています。



サイエンス部の活動

令和4年7月9日(土)

昨年に引き続き、川辺小学校6年生対象の理科実験の出前授業を実施しました。



川辺小学校の児童の皆さんは、目をキラキラと輝かせていて、とても楽しそうでした。

